



Data

監督： オル・パーカー
製作： ジュディ・クレイマー／ゲイリー・ゴーツマン
出演： アマンダ・セイフライド／ピアース・ブロスナン／コリン・ファース／ステラン・スカルスガルド／クリスティーン・バランスキー／ドミニク・クーパー

■■■ショートコメント■■■

◆ABBAの最大のヒット曲「ダンシング・クイーン」を中心に構成され、メリル・ストリープが主演したミュージカル映画が『マンマ・ミーア』（08年）だった（『シネマ21』361頁）。そして、そこでは、メリル・ストリープ扮するドナの娘であるソフィ役として、アマンダ・セイフライドがオーディションで選出され、見事な歌声を披露していた。

その物語のテーマ（？）はソフィの父親はサム、ハリー、ビル3人のうち誰か、という一風変わったものだった（？）が、そこで描かれた母ドナ、娘ソフィの愛は本当に素晴らしいものだった。

◆しかして、その続編となる本作では、ソフィが母親が残したホテルの開業を目指して奮闘する現在の物語と、ドナの若き日である1979年の物語を交差させながら描かれる。前作ではサム、ハリー、ビルはピアース・ブロスナン、コリン・ファース、ステラン・スカルスガルドというビッグネームが演じていたが、本作で若き日のサム、ハリー、ビルを演じるのは、それぞれハンサムだが、私の知らない俳優ばかり。また、卒業式の総代に選ばれながら、いきなりその舞台上、踊り歌い始める若き日のドナを演じるのはリリー・ジェームズだ。本作はその意味では大きく若返っているの、若者は前作より本作の方が楽しいかもしれない。

◆まあ楽しいといえば楽しいが、時間つなぎで観ただけの私としても、本作はその程度の満足感で十分・・・。

2018（平成30）年9月27日記